

第11回チャンネル700番組審議委員会 議事録

ジャパンケーブルキャスト株式会社  
チャンネル700事業推進課

1. 開催日時 令和2年2月21日(金) 11:00~12:55
2. 開催場所 本社 (東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館8F) A・B会議室
3. 委員 総数 8名

出席委員数 7名

※株式会社ソラシア・エンタテインメント 中野社長急用のため欠席

● 出席委員 (敬称略、氏名50音順)

株式会社ニューメディア	月刊ニューメディア代表発行人	天野 昭
メディアプロデューサー		佐藤 一彦
東京ケーブルネットワーク株式会社	取締役会長	土井 良一
株式会社ビデオ・テック	代表取締役	平石 能敬
株式会社 WOWOW プラス	取締役会長	牧野 力
株式会社秋田ケーブルテレビ	代表取締役会長	松浦 隆一
株式会社野村総合研究所	ICT メディア・サービス産業 コンサルティング部 プリンシパル	山口 毅

● ジャパンケーブルキャスト (JCC)

代表取締役社長 兼 COO	大熊 茂隆
取締役 専務執行役員 兼 営業本部長	原 仁美
コンテンツ営業部 部長 兼 メディア事業推進課 課長	岩浪 正純
チャンネル 700 事業推進課 課長	保坂 淳
チャンネル 700 事業推進課	牧野 隼也
チャンネル 700 事業推進課	栃木 弘之
チャンネル 700 事業推進課	中川 洋一朗

※役職は全て開催日時点のものです。

4. 内容 (1) 番組審議委員の紹介  
 (2) 今年度の取り組みについて・700 編成分析結果  
 (3) 配信映像ダイジェスト上映  
 (4) 番組審議・意見交換 (次ページ以降参照)

5. 番組審議等

20分ほどの配信映像ダイジェストを視聴後、内容を審議し全委員から「問題あり」という意見はなかった。放送内容は以下の通り。

項番	権利元名	番組名
1	沖縄ケーブルネットワーク	あまくま歩人
2	沖縄ケーブルネットワーク	沖縄よんな～街歩き こんにちは！ベンビーです。
3	ベイ・コミュニケーションズ	HYPER DASH 基地
4	秋田ケーブルテレビ	スポコンチャンネル
5	仙台 CATV	仙台発！地域密着・音楽情報番組 BONBON-TV
6	東京ケーブルネットワーク	神保町昭和歌謡倶楽部
7	JWAY	神保シェフと茨城をたべよう
8	出雲ケーブルビジョン	出雲のほそ道
9	嶺南ケーブルネットワーク	がんばれ！島ちゃん！！
10	NCT	店長の休日
11	砺波衛星通信	となみ野のコレが自慢
12	東京ケーブルネットワーク	東京ふるさとネットワーク ※磯原、想乃両名出演回
13	信越広域ネット	信越トライウォーク ※磯原、想乃両名出演回
14	アイ・キャン	JCC GIRLS 磯原杏華が行く！見どころ満載！岩国旅
15	沖縄ケーブルネットワーク	沖縄 美ら島トリッパー
16	アイ・キャン	岩国航空基地フレンドシップデー2019
17	LCV	全国新作花火競技大会
18	LCV	諏訪湖祭湖上花火大会
19	LCV	岡谷太鼓祭り
20	ジャパンケーブルキャスト	極旅
21	ジャパンケーブルキャスト	JCC GIRLS×Menkoi ガールズ～書道 de パフォーマンス～
22	ジャパンケーブルキャスト	インフォ チャンネル 700
23	ジャパンケーブルキャスト	オートボックス全日本カート選手権
24	ジャパンケーブルキャスト	激闘！オセロシリーズ
25	ジャパンケーブルキャスト	伊藤さとりと映画な仲間たち

26	ジャパンケーブルキャスト	寄席の時間（ベベコレ）
27	ジャパンケーブルキャスト	東京いろもの演芸劇場
28	ジャパンケーブルキャスト	情熱！日本武道館シリーズ
29	ケーブルメディアワイワイ	ゴールデンゲームズ
30	嶺南ケーブルネットワーク	カッターレース
31	NCT	長岡花火
32	嶺南ケーブルネットワーク	敦賀祭り
33	佐賀シティビジョン	佐賀バルーンフェスタ
34	陸上自衛隊	富士総合火力演習
35	アイ・キャン	錦帯橋花火大会
36	唐津ケーブル	唐津くんち
37	CATV 富士五湖	吉田の火祭り

#### 【チャンネル700に関する主な提言・意見交換】

- 委員 3分や5分尺の番組を毎日のベルトで編成することは可能か？  
短尺の番組は有用性が高いので、積極的に活用していてもいいのでは？
- JCC 現状では難しいが、今後検討。  
5分番組であれば2本段積んで15分枠で現状放送している。
- 委員 沖縄ケーブルネットワークとの連携を強化し、番組制作を行ったり  
伝統的なお祭りなど、沖縄からアジアに向けて情報を発信していくべき。  
eスポーツの中継も今後検討していくべき。
- 委員 東京ドームで行われている「キルトの展覧会」や「盆栽の展覧会」などの  
イベントをチャンネル700で世界に中継すれば、物販にも繋がるし4K映像  
の良さを活かすことができるのではないかな。
- 委員 生中継の案件に関して、すでに有名なお祭りやイベントを取り上げるだけで  
はなく、マイナースポーツやその地域でしか知られていないお祭りなど  
新しいものを開拓していくことも必要。
- JCC これまでも新規中継案件のリサーチは行ってきた。  
ただ、局に放送の交渉をして難色を示した際に簡単に  
あきらめてしまっていた。今後は粘り強い交渉を行うとともに、  
新規案件のリサーチは引き続き行っていきたい。

- 委員 視聴者がより身近に感じられるような番組作りが必要。  
CATV局の番組に興味を持った視聴者がより深い情報(商品を買いたい・その場所に行きたい)を知りたがる傾向がある。  
そういった要望に各CATV局が単局で対応するのは難しいので、PF事業者であるJCCだからできることがあるのではないか？  
(例：商品を購入できるサイトに飛ぶURLを番組内に表示する)
- 委員 改めて「チャンネル700」の位置づけや狙いについて考える必要がある。  
やはり視聴者に見ていただいてなんぼというところがあるので、  
どういったプロモーションを行っているか知りたい。
- JCC プロモーションに関しては以前からの課題となっている。  
フライヤーを作成して各局に配布する程度のことしかできておらず、SNSも利用していない。今後検討していく。
- 委員 自主制作に関して、旅番組のようなCATV局も制作しているジャンルの番組を制作する必要があるのか。  
700としてどういったオリジナル番組を制作するのか考える必要がある。  
(例：1人の政治家に密着して半年間の発言をまとめる)
- 委員 新しいことにどんどん取り組んでいくのはもちろん素晴らしいことだが、  
足元にも目を向けて、埋まらないコミチャンの枠に700を利用してもらうというラストリゾート的な役割も忘れないでほしい。
- 委員 お客さんを「びっくりさせる」というエンターテインメントの根本の考えにもう一度立ち返って、チャンネルの運営を行ってってもらいたい。
- 委員 制作した映像の出どころをテレビだけに限定せず、  
デジタルサイネージやパブリックビューイングでの配信も念頭に置いた企画作りをしていくべき。
- 委員 CATV局が行っている災害放送などの安心・安全放送において  
チャンネル700と各局のコミチャンが連携できるノウハウを構築して  
いかなければならない。
- JCC 社内ではIP告知端末やJC-dataが防災・減災に対応しているが、  
今後そういった部署とどう連携していけるか検討する。

以上